

日系静脈産業メジャーの育成・海外展開促進事業

740百万円(600百万円)  
<うち要望枠200百万円>

廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室  
企画課リサイクル推進室  
廃棄物対策課  
産業廃棄物課

1. 事業の概要

現在、アジアの途上国では、急速な経済発展に反して廃棄物の適正処理が追いつかず、環境汚染が懸念される状況にあり、一部の途上国において不適切な廃棄物処理が行われている例が報告されている。

また、我が国は、これまで廃棄物処理、リサイクルに係る時代の要請に応じて静脈産業、技術を向上させてきており、その結果として我が国静脈産業は環境保全及び循環資源において先進的な技術を有している。

こうした先進的な我が国静脈産業を、特に廃棄物の急増が予測されるアジアを視野に海外展開し、世界規模で環境負荷の低減を実現するとともに、我が国経済の活性化につなげる必要がある。

このため、まずは、我が国静脈産業を海外展開するための戦略を策定し、我が国静脈産業の戦略的な海外展開を促進する。

また、政府、自治体、事業者等が相互に連携しながら、廃棄物処理・リサイクルシステムをパッケージ化して海外展開することにより、高い技術をもった先行グループによる我が国静脈産業の海外展開の実績づくりを進める。

さらに、先行事例に続き、我が国静脈産業の海外展開を進めるため、次世代の海外展開、静脈メジャーを担う静脈産業の育成を支援する。

2. 事業計画

静脈産業の戦略的海外展開促進 17百万円

有識者、学識経験者、産業界関係者等による戦略会議を設け、既に海外展開を視野に入れて活動している事業者への支援策、次世代の海外展開、静脈産業を担う事業者の育成支援等、アジアを視野に入れた日系静脈産業のより効果的な育成・展開支援のための戦略を策定する。

日系静脈産業メジャーの海外展開支援

(1) 日系静脈産業海外展開事業化促進事業 386百万円  
<うち要望枠200百万円>

事業展開対象国での具体的事業展開支援(フィージビリティ調査(事業運営方法、必要経費、環境保全効果等))、その後の円滑な運営を促進するための支援(能力開発事業、枠組構築等)を行う。

(2) 日系静脈産業海外展開支援基盤整備事業 49百万円  
日系静脈産業が海外展開を検討する参考となるよう、対象国廃棄物

処理方法、廃棄物量等の国別情報のデータの収集・分析を行うとともに、アジア各国において我が国静脈産業の周知・普及事業（パビリオン等）を行う。

（ 3 ）日系静脈メジャーの海外展開に資する次世代廃棄物処理技術開発

途上国でも利用可能な、焼却施設における熱利用の推進、ごみ収集から処分までのトータルの温室効果ガス排出量の最小化、ごみ処理システムの低コスト化・高度化のための技術開発により、地球規模の環境保全に貢献する。

（ 環境研究総合推進費の中で計上 ）

次世代の海外展開を担う静脈産業の育成

（ 1 ）民間企業の新たな循環ビジネスモデル確立支援 214百万円

未利用資源の有効利用技術を有する民間企業が、次世代の静脈産業メジャーとして成長し海外展開していけるよう、市民、自治体、排出事業者等による資源を含む廃棄物の回収システムの構築、付加価値が高い製品を安定的に供給できる再資源化ビジネスの構築、及び回収・再資源化システム全体での採算性の実証を行うための実証事業の実施によりビジネスモデル構築を支援するとともに、その取組を広く共有することで循環ビジネス全体の底上げにつなげる。

具体的には、以下の支援事業を行う。

- ・レアメタル含有鉄スクラップの高度選別・利用ビジネス
- ・安価でCO2排出量の少ない廃ペットボトル回収システム構築及び再ペットボトル化ビジネス 等

（ 2 ）日系動脈産業の進出と連動する静脈産業育成支援事業

74百万円

日系動脈産業の進出と連動する静脈産業を育成するため、廃棄物を処理する側の優良化とその差別化や、廃棄物を排出する側が優良産廃処理業者に積極的に廃棄物処理を委託する社会的インセンティブを有する仕組み作りを行うなどして、優良産廃業者が産廃処理市場で積極的に支持される循環ビジネスを構築支援する。

3 . 施策の効果

我が国の経験、知見を活用した、途上国における制度構築と事業展開が一体となった廃棄物処理・リサイクル実施システムの事業展開推進手法が具体事例に基づき形成され、それに続く国内における新たな循環ビジネスモデルの確立とその展開も進むことにより、今後の我が国静脈産業のアジアでの展開が促進される。これによりアジアでの循環型社会構築と環境負荷低減及び我が国経済の活性化が期待される。

# 日系静脈産業メジャーの育成・海外展開促進事業

740百万円 (600百万円)  
<うち要望枠200百万円>

## 効果

- ◆ 廃棄物処理・リサイクルシステム、技術がアジアに普及
  - ▶ アジアにおける環境負荷低減
- ◆ 静脈産業のアジア展開
  - ▶ 我が国経済の活性化

静脈メジャー

先行グループ



海外展開メジャー

次世代グループ



次世代の海外展開

基盤戦略 17 百万円

関係者が連携して、アジアを視野に入れた日系静脈産業のより効果的な育成・展開のための戦略を策定

我が国の廃棄物処理・リサイクルシステムをパッケージとして海外展開 386百万円<うち要望枠200百万円>

大臣合意など政府レベルの基本的枠組みのある国に対する先行グループの海外展開促進

具体的な海外事業展開を想定した  
フィージビリティ調査  
現地での海外展開の枠組み構築のための関係者合同ワークショップ  
現地静脈産業の円滑運営のため関係者への研修

次世代静脈産業メジャーの育成 288百万円

1. 未利用資源の有効利用技術を有する民間企業が海外展開していけるよう、ビジネスモデルの確立を支援

レアメタル含有鉄スクラップの高度選別・利用  
ペットボトルの再ボトル化 等

2. 高リサイクルに取り組む産廃業者、排出事業者を適正に評価する手法の確立等を通じた静脈産業の育成支援

事業者の差別化に向けた適正評価手法の確立とその実施  
産廃業者と排出事業者の協働に向けた情報の収集・分析

情報基盤の整備 49百万円

海外展開可能性国の情報収集・分析 (国内に海外展開情報提供)  
我が国静脈産業技術の海外情報発信 (アジア諸国の興味醸成)

静脈産業の海外展開に資する技術開発  
環境研究総合推進費にて計上

途上国でも利用可能な、廃棄物処理・リサイクルシステムの低コスト化・高度化等の技術の開発